

DRILL-MASUMOTO 彫刻展（第15回）
期日：2024年2月24日（土）25日（日）
二日間のみ 10：00～18：00

R5 文部科学省

「障害者の生涯学習機会開発に関する実証研究事業」より助成。
共催：新居浜生涯学習大学 ワクリエ新居浜
後援：松山東雲女子大学

内容：「遠い過去から、あるいは未来から来たもの」と題して木彫や陶彫の作品を展示します。有機的ないきものを想起させる作品です。展示するだけでなく、「造ること」にもフォーカスしたライブイベントを目指しています。会場のワクリエ新居浜は、旧若宮小学校の跡地。その中の、もとは職員室であった「地域活動支援室」にて二日間、生命を題材とした作品展示と公開制作や体験型ワークショップを行います。

制作者はどのように作品を造るのか。その空間ではどのように空気が騒ぐのか。そこにはどんな時間が流れるのか。そうした制作の現場を肌で感じとることができるならば、みなさんにとっては五感がはたらく非日常の経験となるはずです。

作品の鑑賞は、「手でふれて、感じとる」ことを基本といたしますので視覚障がいなどのある方でも、安心して鑑賞していただけます。

ワークショップ：二日間ともに14：00～17：00の3時間は制作体験ができるようにいたします。小さなクスノキの木っ端を選び、やすりで削ったりして磨き上げ、単純で美しい形のオブジェを造り上げる制作の体験となるワークショップの予定です。

参加費：500円（材料費と消耗品）

一日あたり10名程度とします（要予約）。

申込 masumoto@shinonome.ac.jp まで。

当日12：00まで受け付けます。

主催：DRILL-MASUMOTO（増本 達彦）

松山東雲女子大学 子ども専攻教員



THE CONFUSED VIRUS（戸惑うウイルス）

2023 木 第72回愛媛秋季県展（愛媛県美術館）

「遠い過去から、あるいは未来から来たもの」
ワクリエ新居浜にて、二〇二四年二月 開催。

DRILL-MASUMOTO 彫刻展（第十五回）



The secret loophole
(秘密の抜け穴)

2023 木

日仏文化交流展

(坂の上の雲ミュージアム)



Classroom (教室) 2023 陶

会場：ワクリエ新居浜
地域活動支援室（1F）

792-0003 愛媛県新居浜市新田町1丁目8-56
0897-39-6789

入場無料

（ワークショップ参加の場合のみ500円お願いいたします。）



Instagram

[drill_masumoto](https://www.instagram.com/drill_masumoto)

新旧の作品情報があります。
展覧会に関する告知も行います。

DRILL-MASUMOTO (ドリル-マスモト：増本 達彦)



音階のない、自作しゃもじギターと

- 【略歴】 1969 東京都小平市生まれ 本籍は福岡県 54歳 (2024/02/25 現在)
1995 福岡教育大学大学院美術教育専攻 修了 (教育学修士：美術教育)
彫刻家 池松一隆に石彫を学ぶ。木彫やテラコッタ (陶) など手掛ける
現在 松山東雲女子大学 人文科学部心理子ども学科子ども専攻 教授
「図画工作」「表現」などを担当しながら、造形表現を模索しつつ
作品を造り続けている。
愛媛県美術会 正会員 (彫刻部) 三騎会 会員 (2019年から出品)
美術による学び学会 日本保育学会 日本美術教育学会 に所属

E-mail : masumoto@shinonome.ac.jp / Instagram: drill_masumoto / YouTube: Drill-masumoto works

【作品発表歴】 ※ 県民文化祭 (県展) など 個展 グループ展ほか ライヴ制作や行為としての作品など

- 1991~2006 福岡県美術展覧会 彫刻部門に毎年出品 (1993~福岡県美術協会 彫刻部正会員)
1995~2006 福岡市や宗像市、北九州市などで個展①~⑨回、グループ展5回
1995 第2回木内克大賞野外彫刻展 (茨城県) 入選 (茨城県) 「原始の男」(石彫)
2000 韓日ミレニアム展 セウォンデパート (韓国) YIEAF展 (韓国) 「NAMIDA-KUN」(石彫+木彫)
2007 福岡県美術協会を退会。松山東雲女子大学に赴任。松山市民となる。
2008 グループ展「International Art Exhibition in New York 2008・Dreamer's Rendezvous Vol.5」
A-forest gallery (New York) 「不揃いな統一感」「定まらない中心」「ひび」(木彫3点)
2009 第58回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「Orochi」(木彫) 特選
個展⑩増本達彦彫刻展 2009 (松山市・山越教会会堂) 「層」(石彫) ほか17点
2010 第58回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「虫の怒り」(木彫)
2011 個展⑪「animism(アニミズム)」(北九州市：八万湯) 「生命体I」(木彫) ほか30点
2012 「わすれない・はなれない 3.11 追悼と連帯のタペ」—3.11 東日本大震災追悼礼拝— に作品を提供する
「うねり」(陶) ほか15点 (日本キリスト教団 松山教会)
2013 第62回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「生きるということ」(木彫) 美術会大賞
「わすれない・はなれない 3.11 追悼と連帯のタペ」—3.11 東日本大震災追悼礼拝— に作品を提供する
「怒れる虫」(木彫) ほか5点 (日本キリスト教団 松山教会)
2014 第62回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「魂(アニメ)をもつもの」(木彫)
第63回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「生きようとするかたち」(木彫) 美術会大賞
2015 第63回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「骨虫」(木彫) ※リヤカーで搬入
第64回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「生きていく虫」(木彫)
2016 個展⑫「増本達彦の彫刻作品 ざわめくいきもの展」愛媛県美術館南館
2007年~2016年までの作品「生命体I」ほか46点 愛媛県美術会 準会員となる
第65回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「森を産む虫」(木彫)
「わすれない・はなれない 3.11 追悼と連帯のタペ」—3.11 東日本大震災追悼礼拝— に作品を提供する
「隠しきれない怒り」(陶と鉄) ほか5点 (日本キリスト教団 松山教会)
2017 「彫刻ライヴ制作」を実施。(愛媛県東温市滑川)~現地に滞在し、制作を通じて交流を図る試み~
第65回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「NAMEGAWA」(木彫) 準会員賞
2018 第66回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「揺(よう)」(木彫) 愛媛県美術会 正会員となる
第67回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 審査員 「Emotional shapes」(木彫)
2019 DRILL-MASUMOTO (ドリル-マスモト) を雅号として名乗りはじめる。彫る行為や運ぶ行為を見せる活動も試み始める
2019 第67回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「連鎖するもの」(木彫)
第68回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「萌芽」(石彫)
第10回三騎会展 愛媛県美術館 (新館) 「豊穡の女神」(木彫) ほか14点
2020 第69回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 審査員 「荒ぶるカミ」(木彫)
松山市、東温市において数回の「彫刻ライヴ」をおこなう。※ 造ることにフォーカスしたライブ
2021 個展⑬「DRILL-MASUMOTO 作品展 手でふれて、感じる彫刻たち」あかがねミュージアム (愛媛県新居浜市)
2009年~2021年までの作品「守られた種」ほか10点
第69回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「流転」テラコッタ (陶)
第70回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「ハナレルコトモナイ」石彫 会員優賞
2022 個展⑭「DRILL-MASUMOTO 彫刻展 手でふれて、感じる彫刻たち2~木と土と石と~」あかがねミュージアム
2016年~2022年までの作品「沸き立つかたち」ほか12点
日仏文化交流展 萬翠荘 坂の上の雲ミュージアム 「The Secret loophole」(木彫)
R4年度 アートの森プロジェクト 森のなぞ?なぞ美術館Ⅲ—木からハジマル、木からハジメル— 招待出品 愛媛県美術館
「ざわめく種」(木彫)「森の主(あるじ)」(木彫+陶)
第71回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 審査員 「有機的ないきものいる風景」(木彫)
第11回三騎会展 愛媛県美術館 (新館) 「Mountain(やま)」(木彫) ほか4点
2023 第71回愛媛県美術展覧会 (春季県展) 愛媛県美術館 「Classroom」テラコッタ (陶)
第72回愛媛県美術展覧会 (秋季県展) 愛媛県美術館 「THE CONFUSED VIRUS (戸惑うウイルス)」(木彫)
2024 個展⑮ DRILL-MASUMOTO 彫刻展「遠い過去から、あるいは未来から来たもの」ワクリエ新居浜 「戸惑うウイルス」(木彫) ほか

私は木や石や土などの自然物と向き合うことをものづくりの基本としており、自然物と対話するように制作するうちに、作っているものは「過去から来たような、あるいは遠い未来から来たのか」とも感じられる不思議な作品になっていきます。制作過程ではアニミズム的な感受性や五感が強くはたりますますが、そこに魅力を感じて30年以上「生命を感じさせるかたち」をテーマにした作品を模索してきました。松山東雲女子大学 人文科学部 心理子ども学科 子ども専攻では造形表現に関する授業(図画工作、表現の指導法など)を担当して保育者養成にも携わっております。

(DRILL-MASUMOTO)